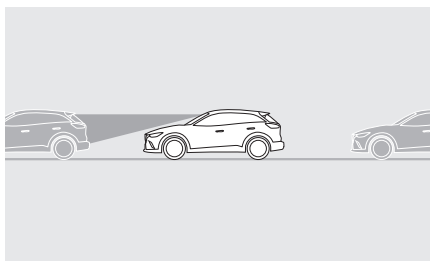


## ヒューマンエラーによる事故の回避、被害軽減をサポートする安全技術

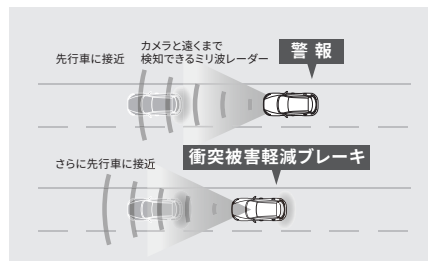


夜間の歩行者も検知する **運転支援機能**

**アドバンスト・スマート・シティ・ブレーキ・サポート(アドバンストSCBS)  
\*夜間歩行者検知機能付**※1※9

先行車や前方の歩行者をカメラで検知し(対車両:約4~80km/h走行時、対歩行者:約10~80km/h走行時)、ブレーキを制御して衝突回避をサポート。また、夜間の歩行者検知精度の向上を図りました。

<標準装備>

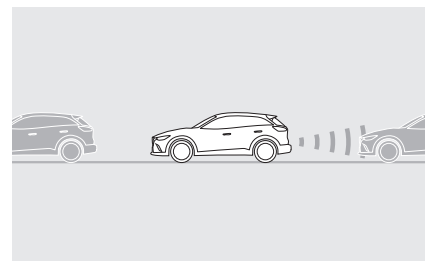


前方車との衝突危険を検知する **運転支援機能**

**スマート・ブレーキ・サポート(SBS)**※2※9

約15km/h以上で走行中、カメラと遠くまで検知できるミリ波レーダーで先行車を捕捉。衝突の危険があると判断すると音や表示で警告、さらにはブレーキを制御し、衝突時の被害軽減や衝突の回避をサポートします。

<対象グレードはP02をご確認ください>



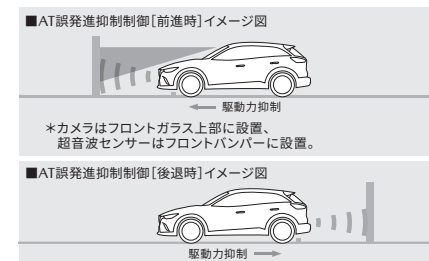
後退時に車や障害物を検知する **運転支援機能**

**スマート・シティ・ブレーキ・サポート  
[後退時](SCBS R)**※2※9

約2~8km/hで後退時に、超音波センサーで障害物をとらえ、衝突の危険性を判断。ブレーキを制御し衝突の被害を軽減します。

<標準装備>

■リアパーキングセンサー(センター / コーナー): リアバンパーの超音波センサーで近距離の静止物を検知し、警告音でドライバーに知らせます。



ペダルの踏み間違いによる誤発進を抑制する **運転支援機能**

**AT誤発進抑制制御**

**[前進時 / 後退時]**※2※3※9

約10km/h以下での徐行中や停車時、カメラや超音波センサーが前方または後方に車両や壁などの障害物を検知しているにも関わらず、必要以上にアクセルペダルが踏み込まれたとき、表示および警報音と同時にエンジン出力を抑えて急発進を抑制します。

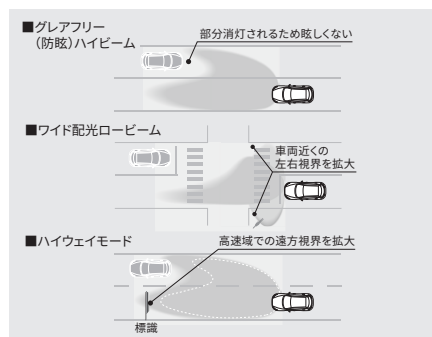
<標準装備(AT車)>

\*イラストは機能説明のイメージです。



※1 対象物(特殊な外観をした車両、部分的に見えている、隠れている、もしくは背景に溶け込んでいる車両と歩行者など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路、夜間や夕暮れなど視界の悪い時など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※2 対象物(レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い、坂の繰り返しなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※3 道路状況(急カーブ、急な坂道など)、天候状況(雨・雪・霧など)、障害物の形状(低い・小さい・細いなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※4 周囲に光源があるとき(街灯・信号機など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い・起伏が激しいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。システムを過信せず、つねに周囲の状況に注意して、必要に応じて上向き(ハイビーム)と下向き(ロービーム)を切り替えるなど安全運転を心がけてください。※5 天候状況(雨・雪など)、隣接する壁や駐車車両の状態などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※6 カメラが映し出す範囲や

## 危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術



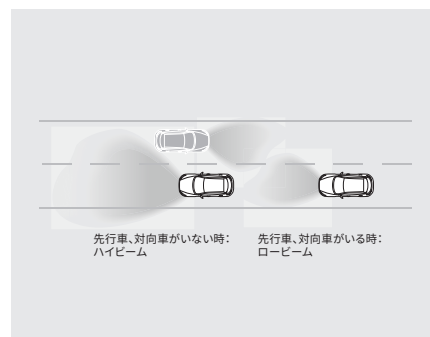
夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する  
**アダプティブ・LED・ヘッドライト (ALH) ※4※9**

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ヘッドランプの照射範囲や明るさを自動的に変化させるシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- グレアフリー（防眩）ハイビーム：  
約40km/h以上で先行車や対向車の状況に応じてハイビームの照射範囲を自動的にコントロール
- ワイド配光ロービーム：  
約40km/h以下で車両の左右側方を広く照射
- ハイウェイモード：  
約95km/h以上でより遠方を照射

\*市街地走行時や外部の照明環境、走行スピードなどにより、機能が一部制限されます。

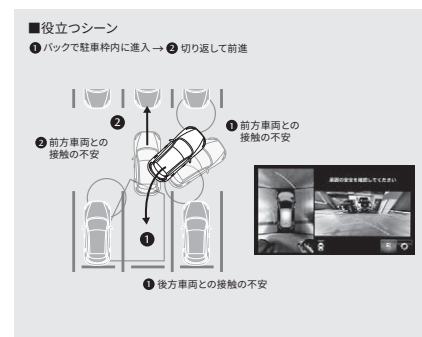


夜間でも安全運転に必要な視認性を確保する  
**ハイ・ビーム・コントロールシステム (HBC) ※4※9**

夜間走行時に先行車や対向車の状況をクルマが判断。ハイビーム・ロービームを自動的に切り替えるシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- ハイビーム：  
約30km/h以上で走行中に、前方に先行車や対向車がないとき
- ロービーム：  
前方に先行車や対向車のランプ類を検知したとき / 街灯が並んでいるエリアや、路面の明るい街中を走行しているとき / 約20km/h未満で走行しているとき



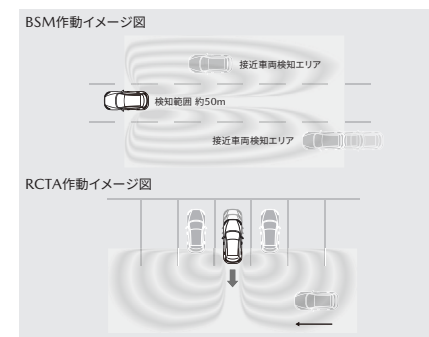
\*画像はイメージです。

見えない部分の危険察知をサポートする  
**360°ビュー・モニター＋  
フロントパーキングセンサー  
(センター/コーナ) ※5※6※7※9**

車両の前後左右にある4つのカメラを活用し、センターディスプレイの表示や各種警報音で低速走行時や駐車時に車両周辺の確認を支援するシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- トップビュー / フロントビュー /  
フロントワイドビュー / サイドビュー /  
リアビュー / リアワイドビュー



死角からの他車両の接近を通知する  
**ブラインド・スポット・モニタリング (BSM) ※8※9 &  
リア・クロス・トラフィック・アラート (RCTA) ※5※9**

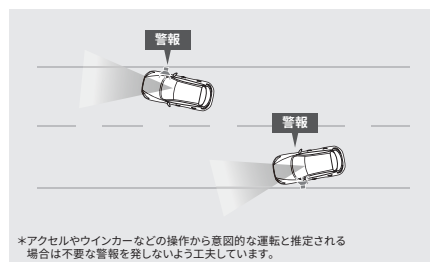
BSMは後方から接近する車両の存在を知らせ、車線変更時の後方確認を支援するシステムです。約15km/h以上で前進しているときに後方からの接近車両を検知すると、接近状態に応じてドアミラー表示を点灯。その状態で点灯した側にウインカー操作すると、点滅表示と警報音でドライバーに危険を知らせます。RCTAは駐車場などから後退するとき、左右後方に接近した車両を検知してドライバーに警告します。

<標準装備>

\*イラストは機能説明のイメージです。

センサーの検出範囲は限られています。また夜間や暗い場所など、使用状況により画質が低下する場合があります。画面はイメージで実際とは異なる場合があります。安全のため、モニターの映像を過信せず目視による安全確認を行いながら運転してください。※7 字光式ナンバープレートとの同時装着はできません。車速約15km/hを超えると画面が消える設定としています。※8 天候状況（雨・雪など）、接近車両の状況（自車に接近してこない、速度差がなく長時間並走しているなど）、道路状況（道路幅が極端に広い / 狭いなど）などの条件によっては適切に作動しない場合があります。※9 アドバンスドSCBS、SBS、SCBS R、リアパーキングセンサー、AT誤発進抑制制御、ALH、HBC、360°ビュー・モニター、フロントパーキングセンサー、BSM、RCTAは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負荷の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。

## 危険の芽「ヒヤリ・ハット」を減らすための安全技術 / 運転負担を軽減する安全技術



### ドライバーに車線の逸脱を警告する 車線逸脱警報システム (LDWS) ※1※4

自車が車線から逸脱する可能性があることを知らせるシステムです。約45km/h以上での走行中にカメラが車線の白線(黄線)を検知。自車が車線から逸脱する可能性があるとしてシステムが判断した場合に、警報によりドライバーに知らせます。

<標準装備>

\*LDWS: Lane Departure Warning System



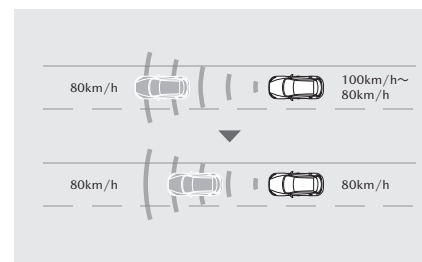
### 少ない視線移動で表示認識できる 交通標識認識システム (TSR) ※2※4

走行中にカメラで速度制限、進入禁止、一時停止の交通標識を読み取り、その情報をアクティブ・ドライビング・ディスプレイに表示。制限速度の超過などをドライバーに警告、安全運転を促します。

<対象グレードはP02をご確認ください>

\*TSR: Traffic Sign Recognition system

\*画像はショッポオプションのナビゲーション用SDカードPLUS装着時のイメージです。

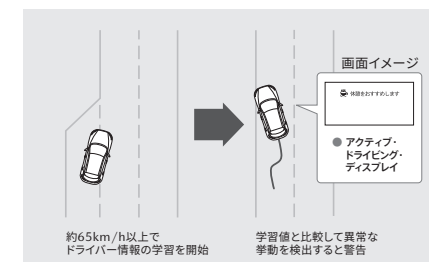


### 車間距離を一定間隔で保つ 運転支援機能 マツダ・レーダー・クルーズ・コントロール (MRCC) ※3※4

フロントレーダーセンサーが先行車を検知することで、アクセルペダルやブレーキペダルを踏まなくても、設定した速度での定速走行や、車間距離を一定に保ちながら追従走行ができるシステムです。

<対象グレードはP02をご確認ください>

- AT車 全車速追従機能付:  
0km/h～高速域まで
- MT車: 約30km/h～高速域まで

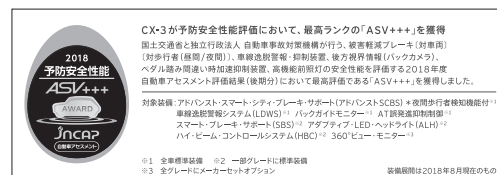


### ドライバーへの休憩をお勧めする ドライバー・アテンション・アラート (DAA) ※4

ドライバーの疲労や注意力の低下を検知し、ドライバーに休憩を促すシステムです。車線内を約65km/h以上で走行しているとき、クルマがドライバーの疲労増加や注意力低下を推定。アクティブ・ドライビング・ディスプレイの表示と警報音でドライバーへ休憩を促します。

<対象グレードはP02をご確認ください>

\*イラストは機能説明のイメージです。



受賞時期: 2016年5月  
主催: 国土交通省・(独)自動車事故対策機構

こちらでマツダ先進安全技術  
i-ACTIVSENSEガイドブックを  
ご覧いただけます。



※1 天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(急カーブ・車線幅が極端に広い/狭い・車線の白線(黄線)が見えにくいなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。  
※2 対象標識(明るすぎる・暗すぎる・汚れ、雪、木などで隠れているなど)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが連続する道路など)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。  
※3 対象物(レーダー波または超音波を反射しにくい形状の車両など)、天候状況(雨・雪・霧など)、道路状況(カーブが多い、坂の繰り返しなど)などの条件によっては適切に作動しない場合があります。  
※4 LDWS、TSR、MRCC、DAAは、ドライバーの安全運転を前提としたシステムであり、事故被害や運転負担の軽減を目的としています。したがって、各機能には限界がありますので過信せず、安全運転を心がけてください。●その他、重要な注意事項がございますので、営業スタッフにおたずねいただくか取扱書をご確認ください。



## 万が一の事故や衝突による被害を軽減するための技術

キャビンの変形を最小限に抑える

**軽量・高剛性・安全ボディ****“SKYACTIV-BODY”**

基本骨格の「ストレート化」と各部骨格の「連続フレームワーク」を基本として、軽量・高剛性ととともに優れた衝突安全性能を実現しました。

<標準装備>

乗員を素早く拘束する

**高機能シートベルト**

衝突初期の拘束力を高めるプリテンショナーと、安定した荷重で乗員を拘束するロードリミッターを運転席・助手席・リアシート左右席に採用。運転席のプリテンショナーは肩側と腰側の2か所に備わります。

<標準装備>

チャイルドシートを簡単・確実に装着できる

**リアシートISOFIX※6対応チャイルドシート固定ロアアンカレッジ(左右席)&トップテザーアンカレッジ(左右席)**

<標準装備>

※6 国際標準化機構(ISO)の定めたチャイルドシート固定装置に関する規格。

乗員の体をしっかりと受け止める

**SRS※5エアバッグシステム****運転席&助手席、カーテン&フロントサイド**

運転席&助手席のSRS※5エアバッグシステムと、側面からの衝突時に前後席の乗員への衝撃を軽減するSRS※5エアバッグシステム。カーテン&フロントサイドを全車に装備しました。

<標準装備>

※5 SRS: Supplemental Restraint System (補助拘束装置) 運転席&助手席エアバッグは横方向や後方からの衝撃、横転および転覆した場合や正面からの衝撃が小さい場合には作動しません。カーテン&フロントサイドエアバッグは横方向からの衝撃を感知した場合、感知した側が作動しますが、正面や後方からの衝突時や衝撃が小さい場合には作動しません。すべてのSRSエアバッグはシートベルトをしたうえで補助拘束装置です。シートベルトは必ず装着してください。

追突された際の頸部への衝撃を和らげる

**頸部衝撃緩和フロントシート**

<標準装備>

積荷による乗員傷害発生の可能性を抑える

**荷物侵入抑制機構リアシート**

<標準装備>

前面衝突時に後席乗員の下半身の移動量を抑える

**衝突時後席乗員滑り込み防止機構**

<標準装備>

衝突時に歩行者の体を守る

**歩行者保護**

万一の衝突時、歩行者の頭部や脚部への傷害を軽減するためのエネルギー吸収構造などを、ボンネットまわりやフロントバンパーに採用しています。

<標準装備>

**安全運転サポート車(サボカーS・ワイド)に該当**

経済産業省や国土交通省などが普及啓発を推進している、高齢者を含む運転者を先進安全技術で支援し交通事故防止を図る「安全運転サポート車(サボカーS・ワイド)」に該当しています。サボカーS・ワイドは、被害軽減ブレーキ(対歩行者)、ペダル踏み間違い時加速抑制装置、車線逸脱警報、先進ライトを搭載した車です。



\*対象車種、サボカーSの区分についてはマツダオフィシャルウェブに掲載しております。上記QRよりご覧下さい。